

学校教育目標 「**おいに学び やさしく まっすぐ伸びる**」児童の育成  
～夢と希望にあふれる元気いっぱいの学校～



**みんな大好き大山っ子**

有田町立大山小学校  
学校だよりNo.11  
令和8年6月15日発行  
文責:校長 川原 悟



右上のQRコードを読み取っていただくと大山小学校ホームページからも御覧いただけます。

## SNS 利用に関するアンケート結果について

先日、保護者の皆様を対象に実施いたしました「お子様の SNS 利用に関するアンケート」では、大変お忙しい中、多くの御回答をいただき誠にありがとうございました。今回のアンケートから、子供たちのネットに繋がる端末の利用状況や、保護者の皆様が感じておられる課題等が見えてきました。集計結果の概要を以下の通りお知らせいたします。



### 【アンケート結果の概要】(回答140件 回答率:86%)

#### ◆所持率と利用時間

全校児童の約60%が自分専用のインターネットに接続できる端末をもっており、学年が上がるほどその割合は高くなります。(1年生:40%、6年生:85%)

また、平日1日に使う時間は、高学年ほど長時間になる傾向にあり、2時間以上使っている児童が25%に上ります。

※昨年度の全国調査では、小学生のスマホ所持率は56%と報告されていたので、本校の数値はそれを上回る結果となりました。(子どものスマホ利用実態調査【2025】(株)ALL CONNECT)

#### ◆利用する端末

自分専用の端末としては、スマホやタブレット、携帯型ゲーム機が多く使われています。また、自分専用の端末はないと回答されたところでも、ほとんどが、家族と共有して使っていることが分かりました。

#### ◆家庭でのルールや対応

利用に関するルールは多くの家庭で決められているものの、「ルールが守れていない」という声も比較的多く見られました。なお、多くの家庭で利用制限やフィルタリングなどの対策は講じられています。

今回の結果を受け、学校でも情報モラル教育として、学年に応じて使い方やリスク等について指導していきます。低学年から自分専用の端末を所持している現状を考えると、情報モラル教育のさらなる充実が必要不可欠であることを感じています。

しかし、SNS やインターネットは学校の目の届かない放課後や家庭内での利用が中心です。大切なことは、一律に禁止することではなく、「トラブルを起こさない、トラブルに巻き込まれないための自律の力を育てること」だと捉えています。

ぜひこの機会に、この結果を見ながら「使用する時間」や「使う場所」等、改めて「我が家のルール」についてお子様と話し合ってみてください。今後も家庭と学校が連携し、子供たちが安全にデジタル社会を歩んでいけるよう、一緒に考えていければ幸いです。



#### スマホ利用のルール(例)

・22時以降は、使用しない。 ・食事中は、使用しない。 ・寝室には、持ち込まない。 等

※お子様と一緒に決めることが大切なポイントです。

参考:一般社団法人全国PTA連絡協議